

# 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	利用児童 41名中 回収数34名 割合82%
事業所名	てらびあぽけっと鳩ヶ谷教室
公表	2026年 3月 20日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	1	0	0	子どもの数で考えると妥当。 活動の様子を写真で見ると不自由さが無さそう。 子どもがたくさん運動できているので問題ないです。 個室は窓が透明で、カメラが設置されています。 子どもがストレスを感じていないさそう。 怪我なく活動しているから。 整理整頓がされている。 広すぎず狭すぎずいい距離感で活動できると思います。 個室での活動、広間での活動とわかれており、スペースは十分ですしメリハリもあると思います。	お子様の活動スペースの安全を第一に、目つお子様の発達状況に合わせたスペース作りを都度行なっていきます。 児童の気が散らない様、個別支援で大部屋を使用する際にはパーティションで仕切る等配慮しています。 広すぎず、狭すぎずの広さで個々の活動に集中できる法令に遵守にした適切なスペースを確保した設計にしています。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	0	0	0	子供一人に職員1人の割合で充分。 部屋の広さと子どもの数で考えると妥当。 丁寧に見てくださっています。 担当の先生がついています。 過不足を感じないため。 担当の先生がその場を少し離れるような時も他の先生が連携して見てくださっています。 個別で見守る人数配置をさせていただいてありがとうございます。 全員が子供担当ではなく、補助的に入れる先生もいらっしゃるの、人数は十分だと感じています。 マンツーマンで見てもらえるので安心です。	全てのお子様への目が行き届く支援が継続していけるよう努めていきます。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1	0	0	仕切りがなくどこから何があるか見える。 荷物を置く場所等も目印があるので問題ないです。 個室、トイレ、書棚などはいづれも分かりやすい場所にあります。 靴を脱いだり、履いたりする部分が分かりにくい。 絵カードなどによってわかりやすく示されていると思います。 お部屋の名前が動物だったり、お片付けの場所など子どもにとって分かりやすくなっていると思います 掲示物等、子どもにわかりやすく工夫されていると感じています。	教室内の段差はほぼなくバリアフリー、安全面に考慮している。お子様への視覚的配慮、生活場面の敷居をイメージして環境設定をしています。 土足OKのエリアを誰が見ても分かりやすい様に視覚的表示等も用いて改善させていただきました。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	0	0	0	得に汚れは見られない。教室は明るくて活動しやすいです。 清潔感があるのがわかります。 いつも綺麗に保たれて清潔感がある。 いついっても綺麗に片付けられており、汚れていると感じたことはありません。	毎日の玩具、遊具の消毒・洗浄の徹底、お子様の発達状況に合わせて遊具の設置方法などに配慮しています。
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	3	0	0	ミーティングで職員の話に納得できるから。 子どもの成長を見守りいただき、課題であるところも優しく寄り添いながらの関わりがとてもありがたいです。 定期的面談があります。 我が子の特性や特徴をそれぞれの先生方が理解し、ヒアリングをしてくれる。 いつも子どもの特性をよく見て頂いています。 親ですら気づけなかった特性など細かくみてくださっていると思います。いつも勉強させていただいております。 都度子どもにあった対応を考えていただいているので。	セラピー単位取得制度による本部SVからの審査をもらう機会を 設けています。本部でテーマごとの研修が日々設けられておりスキルアップ体制が整っています。 教室内でも適宜研修の機会を設けている。 お子様の事例を共有、議論するケース会議の場を設けており、カンファレンスでは全職員の意見を出し合う事としています。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っていると思いますか。	34	0	0	0	インスタグラムやお便りで発信されている情報は支援内容と合っていますしとても興味深いです。 教室発行のお便りを必ず拝読しております。SNSはあまり更新されていない印象です。	事業所で共通の支援動画を視聴していただき、実際のお子様の課題プログラムと照らし合わせてご説明する機会を設けています。 令和7年2月10日てらびあぽけっとホームページに公表、指定権者へ申請済み。 <a href="https://terapiapocket.com/flow/support-program.html">https://terapiapocket.com/flow/support-program.html</a>
7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	34	0	0	0	家庭での困りごとなども聞き出してくれて、その中から支援すべきところなど指導計画を面談などを通して話していただいています。 我が子の特性や発達、成長に応じて、次のステップを提案、相談してくれる。 子どものことをよく見て頂いていますし客観性もあります。 いつも丁寧なヒアリングをいただいております。	アセスメントやカンファレンスの場で全職員からの意見をもらい、長期目標、短期目標を設定し、誰が見てもわかりやすい計画設定をしています。引き続きお子様、ご家族様に寄り添いながら計画書作成に努めていきます。
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている と思いますか。	32	1	0	1	面談があり、幼稚園訪問もあります。 いただく計画書はわかりやすいです。	アセスメントやカンファレンスの場で全職員からの意見をもらい、長期目標、短期目標を設定し、誰が見てもわかりやすい計画設定をしています。
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われている と思いますか。	33	0	0	1	具体的な計画に沿って行われていると思います。 支援は一貫されており、先生方間で情報伝達もしっかりされていると感じます。	職員全体でお子様の支援状況や課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。 職員一人一人が計画内容を理解し、それぞれが根拠をもって支援に取り組んでいきます。 計画書の支援内容は誰が見ても分かりやすく具体的な内容を記述しています。

適切な支援の提供

保護者への説明等	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	0	0	1	プログラムに飽きがないよう、いつも色々工夫されていて子どもも楽しく通わせていただいております。先生方の日頃の準備や計画など本当に感謝しております。季節や時候にあった制作なども取り入れて頂いています。我が子の好きな物や言い回ししやすい言葉を使いトレーニングされている。子どもの状況に合わせておられると思います。我が子は飽きっぽいはずなのにいつも楽しく通っているの、かなり工夫されていると感じています。	こどもの発達段階やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行っています。お子様たちの活動に鮮度を持たせられるよう、物的環境を整えています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	2	8	4	幼稚園側とも連携してくださるので助かります。	今後、ご要望があれば検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	1	計画を見ながら説明を受けました。	契約時に決められた時間の中でご説明、ご理解のご確認をしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	1	計画を見ながら説明を受けました。定期的な面談で支援内容だけでなく、親へのアドバイスもいただけるので助かっています。	保護者様と職員で相互理解を確認しながらご説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	1	0	0	月に一度ペアレントトレーニングの機会があり、先生と個別に困りごとについて相談できる。ペアトレをしていただけることに大変感謝しております。ペアトレで学ばせていただいております。家族で内容を共有しています。	セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。定期的に行なっていない保護者様への実施を行っています。ご相談に対して寄り添う姿勢を持ち、不明点や不安がないかの確認をしていく事を徹底していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	0	0	0	毎回よく見て頂いています。体調に関してはかなり注意深くみてくださっていると感じます。	日々のセラピーノートに保護者様より記入頂いているお子様の様子を職員全体へ共有、特要事項があれば様子を観察し、ノートに記入。保護者様や職員と共通理解が持てるよう取り組んでいます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	0	0	0	ペアレントトレーニングの際に伺うことができます。毎回振り返りのときやペアトレなどでご助言など頂き感謝しております。面談時だけでなく、お迎えにいったときのフィードバックでもアドバイスをくださるので助かっています。	セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。定期的にご家族様支援としてペアトレを行いお子様の成長を一緒によるごんだり、困りごとに一緒に悩んだり、二人三脚の支援に取り組んでいます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	0	0	共感的にお話くださるので些細なことでもとても相談しやすいです。不明な点はその都度質問したりお話ししているため、特に改善点は感じておりません。一緒に子の成長を見守っていただいていることに感謝しています。	引き続き、お子様、ご家族様のお気持ちに寄り添い、包括的な支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3	10	8	今年、初めて夏祭りが開催され、兄弟も参加でき、みんな楽しんでらえた。特別そのような機会は思い当たりませんが、教室の帰りなど自然とお話できる方がふえました。こちらに関してはあまり必要性を感じておりません。	今年度、初の試みとしてご家族皆様参加型の「夏まつりイベント」を開催しました。多くのご家族様にご参加いただきご好評でした。形式的な会ではなく自然とご家族同士で関わることでできる機会を作っていくことに努めていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1	0	2	よくわからないのですが、もし相談をしたら対応していただけたらと思っています。相談しやすいです。	定期的にペアレントトレーニングを実施。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1	0	0	お便りやラインなどで情報をいただいたりこちらから送ることもできています。配慮もいただいておりますし、癖のある我が子にも丁寧な対応をしてもらってると感じています。	フィードバックの際等、保護者様からのご意見やお話伺えるよう、ちょっとしたことでもお話ししやすい環境設定をしています。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	2	0	1	発信されています。申し訳ないのですが、質問の意図がわかりませんでした。	教室便り、SNS、ブログ等の情報公開の頻度を上げていき、周知していきます。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	2	何も問題を感じることはないです。個人情報にかんしては問題をかんじておりません。	個人情報の取り扱いについて引継ぎ細心の注意を払ってまいります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	0	2	色々な対策をさせていただいています。LINEなどで連絡をいただいております。	契約時ご説明時に明確なご説明に努めています。訓練の実施、保護者様への周知の機会を増やしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	1	0	2	定期的に避難訓練をされているようです。お便りで防災訓練の様子も拝見しました。訓練がされていることはしております。	契約時ご説明時に明確なご説明に努めています。訓練の実施、保護者様への周知をSNSや教室お便りを通じて機会を増やしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	0	0	0	よく見て頂いています。我が子は特性ゆえに怪我をしやすいのですが、こちらではほとんど怪我をしてくるごないので、安全対策がなされているのだと感じております。	安全計画に基づいた取り組みを発信していく事に努めてまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1	0	1	一度きり傷のあった日がありましたが、状況を説明してくださりました。契約時に丁寧な説明をうけました。	ご利用者様が安心安全に活動できる環境作りには引き続き努めてまいります。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	1	0	0	<p>最寄りまで来ると前のめりになって、進んでいくので、楽しんでやっているんだろうなというのが感じられます。先生にもよく懐いています。</p> <p>いつも行きたがっています。先生方が子どもに対して柔軟な対応をしてくださるので、子どもはのびのび過ごしているのだと思います。</p>	<p>お子様のその日その日の状況を見ながら対応し、保護者様にも共有してき、安心安全に活動できる環境作りに引き続き努めてまいります。</p>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	3	0	1	<p>最近は行き渋りもなく楽しんでます</p> <p>とても楽しみにしています。年末年始は早く行きたいというおりました。</p> <p>子にあった個別支援の活動が楽しいのだと思います。</p>	<p>セラピストとの時間だけでなく、お友達との時間も楽しみの一つとなるような機会の場の環境設定も引き続きおこなってまいります。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	0	<p>よく見て頂き、相談もしやすいので満足しています。</p> <p>先生方にはいつも本当に感謝しております。子だけでなく親のメンタル面のサポートもしていただいていると感じています。息子が楽しく通えているのは先生方のお陰です。今後ともよろしくお願ひします。"</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>お言葉を励みに今後もお子様、ご家族様に寄り添う支援を心掛けながら、支援内容も充実させていけるよう、精進してまいります。</p>

# 事業所における自己評価結果

公表

公表日 2026年 3月 20日

事業所名

てらびあぼけつと鳩ヶ谷教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	児童の気が散らない様、個別支援で大部屋を使用する際にはパーテーションで仕切る等配慮している。広すぎず、狭すぎずの広さで個々の活動に集中できる法令に遵守にした適切なスペースを確保した設計にしている。	個別支援での環境設定の際、お様が集中して取り組めるように物的環境を整えていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	マンツーマンや小集団活動の職員の適切な配置を組んでいる。	職員の当日欠員等のイレギュラー時には当日の相互確認を十分に行い事故につながらないようにし、プログラム内容も配慮して行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	教室内の段差はほぼなくバリアフリー、安全面に考慮している。お子様への絵カードやマーク等の視覚的配慮、生活場面での般化をイメージして環境設定を行い、子供に合った棚、机・椅子を使用している。	トイレの段差についてはお子様の発達状況により適宜対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日の玩具、遊具の消毒・洗浄の徹底、お子様の発達状況に合わせて遊具の設置方法など配慮し、安全に活動できる体制を整えている。	お子様たちの活動に鮮度を持たせられるよう、物的環境を整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別支援として一人一部屋(ひと区画)準備されている。こどものクールダウン(メンタル面)や急な体調不良が発生した際に個別部屋で対応が可能。	イレギュラー対応としての個室の利用場面を職員間で共通認識を持つていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	朝礼時や支援後の共有、書類の確認、職員ミーティング、研修、定期的な管理者との1on1面談を行い共通認識を持つ場の環境をつくっている。また、立場年齢など関係なく建設的な意見交換を行い業務改善に繋げている。	引き続き職員間で主体的に意見交換する環境を整え、全職員が参画しやすい環境を作っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年評価アンケートを実施し、ご回答頂いたご意見の基づき改善策や保護者様のご意向把握に努め、職員間で話し合い実行している。	日頃より保護者様との関係構築に努め、保護者様のご要望、ご意見を日頃から伺いやすい環境を整えていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	朝礼時等での情報共有や定期的な管理者との1on1面談を行い共通課題が上がった際には、改善に向けた話し合いの場を設け、業務改善に努めている。	職員同士の意見交換の場も定期的に設けていく事に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	外部による第三者評価は行っていないが、てらびあぼけつと本部からの定期的な訪問や、セラピー段位取得制度による本部SVからの審査をもらう機会を設けている。	第三者評価者の設置の検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	法人全体での研修参加や支援内容の情報共有を職員全体へ認知していけるよう、こまめに行なっている。	全職員が自主的に自己研鑽に励み共有し合える環境を整える。また、共通認識の元支援出来るよう、フォローアップ体制を整えていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	<a href="https://terapiapocket.com/flow/support-program.html">令和7年2月10日てらびあぼけつとホームページに公表、指定権者へ申請済み。</a> <a href="https://terapiapocket.com/flow/support-program.html">https://terapiapocket.com/flow/support-program.html</a>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	見学、体験、面談、ペアトレ時に保護者様からの聞き取りや、お子様の様子を様々な視点からアセスメントを行い、お子様に合った支援計画書を作成している。	職員全体でお子様と保護者様のニーズや課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	計画書(原案)カンファレンスにて情報を共有し、全職員から今の子供の発達とこれからについての意見を出してもらい、検討が行われている。	引き続き、職員全体でお子様の支援状況や課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個々の課題に沿ったプログラムを作成し、職員が支援の際に必ず目に触れる所に計画書を配置し、契約書更新の際は必ず全職員の署名サインを行っている。	職員一人一人が計画内容を理解し、それぞれが根拠をもって支援に取り組んでいく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	統一されたアセスメントシートを使用し、日々のお子様については職員間で共有出来る様に個人データへ記録を残している。	職員全体でお子様の支援状況や課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに明示された項目を適切に設定し、お子様に合わせ、段階的に課題に取り組めるよう、支援内容を設定している。また、誰が見てもわかりやすい計画設定をしている。	全職員が共通認識のもと支援プログラムの実践にあたっていく。

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	こどもの発達段階やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行っている。	職員の共通理解、認識の機会を作りスキルアップを図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	こどもの発達状況やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行っている。	職員の共通理解、認識の機会を作りスキルアップを図っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援内容や役割分担について確認し、チームで行われているか。	9	0	それぞれのお子様の生活環境を加味しながら、般化していくイメージを持って計画し、個別活動と小集団活動の支援の実施をしている。	全職員が共通認識のもと支援プログラムの実践にあたっていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼等で申し送りを実施、確認をし、個別な情報共有は職員同士で積極的にこなしている。その日出勤していない職員は業務日報を確認して全職員に共有している。	引き続き、効率よく共通認識が持てるように日頃から職員同士のコミュニケーションを密にとっていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	それぞれの職員の勤務体制が様々なこともあり、振りかえりの参加は限定的であるが、引継ぎ等で気づいた点の申し送りが個々で職員が自発的に行なっている。しっかりと全体共有していくためにデータファイルに記載して共通認識を図っている。	引き続き、効率よく共通認識が持てるように日頃から職員同士のコミュニケーションを密にとっていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	個別のデータファイルを作成し毎回データ記入を行っている。また、結果内容を検証、改善していくためのツールとして使用している。	引き続き、誰が見てもわかりやすい記入を職員全体で共有していく。データ内容を総合的に見れるように職員のスキルを上げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	必要に応じて判断をしてアセスメントシート等で適切に見直しをしている。2ヶ月～6ヶ月毎に必ず行っている。	引き続き、職員間で共通認識を持って取り組んでいける仕組みを作っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	職員全体で子どもの状況把握に務めており、情報共有を取っている。会議には管理者が代表して参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	各関係機関と子どもについての共有の機会を管理者・児発管が代表して積極的にとっている。	まだ連携が不十分な機関についてはこれから計画を立てていく必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	積極的にやっている。併行利用先の事業所とも意見交換や相互に訪問を推進した実績もある。ご要望に応じて園と連携を取り、直接訪問をし、情報共有を行っている。	まだ連携が不十分な機関について、これから計画を立てていく必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	保護者様を介して情報共有の機会を設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	訪問、見学の場を設けて意見交換等の機会をつくっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		ご要望があれば機会を作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	ご利用の都度フィードバックや定期的な面談、ペアレントトレーニングの時間を設け、情報共有、共通理解を深めている。	引き続き保護者様のご意見、ご要望に耳を傾けるフィードバックを心掛ける。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	定期的に（月1回～4回）保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。	ペアトレがコンスタントに行っていないご家族様もいるのでスケジュールの見直しも必要。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時にご説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談、モニタリング等を等意向を確認する機会を設けており、職員によるアセスメントと合わせ、多面的、多角的な観点から計画書を作成している。	引き続きフィードバックやペアトレの場でご家族様の考えや思いを引き出しやすい環境を更に作っていく。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	保護者様と職員で相互理解を確認しながらご説明し、ご署名ご捺印をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的に行なっているベアトレやフィードバックの際に保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭でのご様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5	父母会の開催は行っていないが、今年初めて過去にご	引き続きご希望に沿った場の提供を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	定期的に行なっているベアトレやフィードバックの際に保護者様とお話しさせていただく機会を設けており、場合によっては電話やライン等で迅速に対応をしている。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭でのご様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	教室便り、SNS、ブログ等の情報公開をしている。	引き続き教室便り、SNS、ブログ等の情報公開の頻度を上げていき、周知していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	情報の整理を行い、鍵のかかる収納棚での管理をしている。また、子供の情報について関係機関と連携する場合には保護者の同意を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	児童に対しては、視覚化することで意思疎通や情報伝達のための環境作りを行っている。保護者に対しては、営業時間外であっても、SNSの導入によって、外国人の保護者も含めてコミュニケーションが取りやすいように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		機会を設けていくことを検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種対応マニュアルの所在場所等保護者様に目につきやすい場所へ張り紙のご案内をしている。防災訓練は定期的に訓練を実施し、適宜マニュアル等職員全体で見直しを行なっている	引き続き訓練実施の公表等保護者様への周知の機会を増やしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPを策定し、実施・記録を行なっている。	引き続き訓練実施の公表等保護者様への周知の機会を増やしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	ご契約時に必ず服用しているお薬や医療機関等のヒアリングを行なっており書面（フェースシート・アセスメントツール）で記録を残し、職員全体での把握に努めている。子供の状況に応じて研修の実施もしている。	児童の服薬やアレルギーなど、6か月毎の面談時に前回のフェイスシートの情報を印刷して、変点があれば訂正を入れていただくことで漏れを防いでいく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	契約時のお聴き取りの際にヒアリングを行い食品を扱う際には保護者への確認、了承を得ている。	児童の服薬やアレルギーなど、6か月毎の面談時に前回のフェイスシートの情報を印刷して、変点があれば訂正を入れていただくことで漏れを防いでいく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を策定し、計画に沿った研修・訓練を実施している。	引き続き訓練実施の公表等、保護者様への周知の機会を増やしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時に安全確保についてのご説明を具体的にお伝えしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	毎日ヒヤリハット発生の有無について確認を取り、発生状況を記入、3ヶ月毎に集計を取り、改善に向けた話し合いを実施、職員全員が事案の把握をし、危機管理意識の向上に努めている。	引き続き活動中のヒヤリを意識した動き、また発生時の対応、職員全体の共通認識、理解の底上げを目指す。児童、職員の動きは様々なので、ヒヤリハット事例の解決策に関しては、個々の対策を引き出していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	職員全員が研修動画を視聴し、研修報告書を記入。年に1回委員会の開催、研修の機会を設け、職員間での共通認識を持てるよう実施している。児童や保護者様のご様子や言動に気をつけて観察し、必要に応じて身体にも目を配るようにしている。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	保護者へは契約時に虐待についての内容と同時にお伝えしている。 年に1回研修の機会を確保、職員間での共通認識を持つよう実施している。身体拘束が必要にならないよう環境設定に気をつけると共に対処策を用意している。	
--	----	--	---	---	--	--

## 事業所における自己評価総括表

<b>公表</b>			
<b>○事業所名</b>	てらびあぼけつと鳩ヶ谷教室		
<b>○保護者評価実施期間</b>	令和8年 1月 24日 ~ 令和8年 1月 28日		
<b>○保護者評価有効回答数</b>	(対象者数)	41名	(回答者数) 34名
<b>○従業者評価実施期間</b>	令和8年 1月 10日 ~ 令和8年 1月 30日		
<b>○従業者評価有効回答数</b>	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
<b>○事業者向け自己評価表作成日</b>	令和8年 2月 25日		

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援(ペアレントトレーニング)で保護者様の困り事に対するのアドバイスや一緒に悩みながらご家族との協力体制をつくり上げていけていること。	保護者の困りごとを丁寧に聞き取り、日常場面に即した形で整理・共有することを大切にしています。専門的な視点からの助言だけでなく、ご家庭の価値観や生活リズムを尊重し、無理なく実践できる対応を一緒に検討しています。また、事業所での支援と家庭での関わりに一貫性を持たせることで、保護者が安心して関われる協力体制づくりを意識しています。	今後の取り組みとして家庭で見返せる支援資料や具体的な対応例を充実させ、継続的な実践につなげていきます。さらに、保護者が一人で抱え込まないよう、ご家族全体を視野に入れた関わりを強化し、より安心できる支援体制の構築を目指します。
2	職員達で意見(アイデア)を出し合い、ABA療育に基づいた独自のプログラムを実施している。 *感覚統合プログラム *身辺自立プログラム etc...	職員間で日常的に意見交換を行い、子どもの行動や反応をもとに支援内容を検討しています。ABA療育の考え方を基盤としつつ、画一的にならないよう、現場の気づきを反映した独自プログラムを柔軟に調整・実践しています。	支援の振り返りやケース検討の機会を定期的に設け、ABA療育の理解を深めながら支援の質向上を図ります。職員一人ひとりの視点を活かし、より効果的で再現性のある独自プログラムの構築を進めていきます。
3	幼稚園・保育園など関係機関との連携を積極的に行っている。	幼稚園・保育園などの関係機関と日頃から情報共有を行い、子どもの様子や支援方法のすり合わせを大切にしています。支援の目的や関わり方を共通理解することで、園と事業所が連携し、一貫した支援につながるよう意識しています。	今後は連携の頻度や方法を見直し、より具体的な支援内容の共有を進めていきます。関係機関との信頼関係を深めながら、子ども一人ひとりの育ちを多面的に支えられる連携体制の充実を図っていきます。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の属人化	職員個々の経験や判断に頼る場面があり、支援方法の共有や統一にさらなる工夫が必要と感じています。	職員間で支援内容や対応方法を共有できる仕組みを整え、共通理解のもとで支援を行える体制づくりを進めます。ケース検討の機会を設け、支援の意図や判断根拠を言語化することで、ABA療育を軸とした質の均一化を図ります。
2	記録、振り返りの時間確保	日々の支援を優先する中で、十分な振り返りや検討の時間がとりにくい点が課題です。	記録様式の簡素化や業務の見直しを行い、記録や振り返りに充てる時間の確保を図ります。短時間でも職員同士が支援を振り返り、気づきを共有できる機会を設け、日々の支援の質向上につなげていきます。
3			